

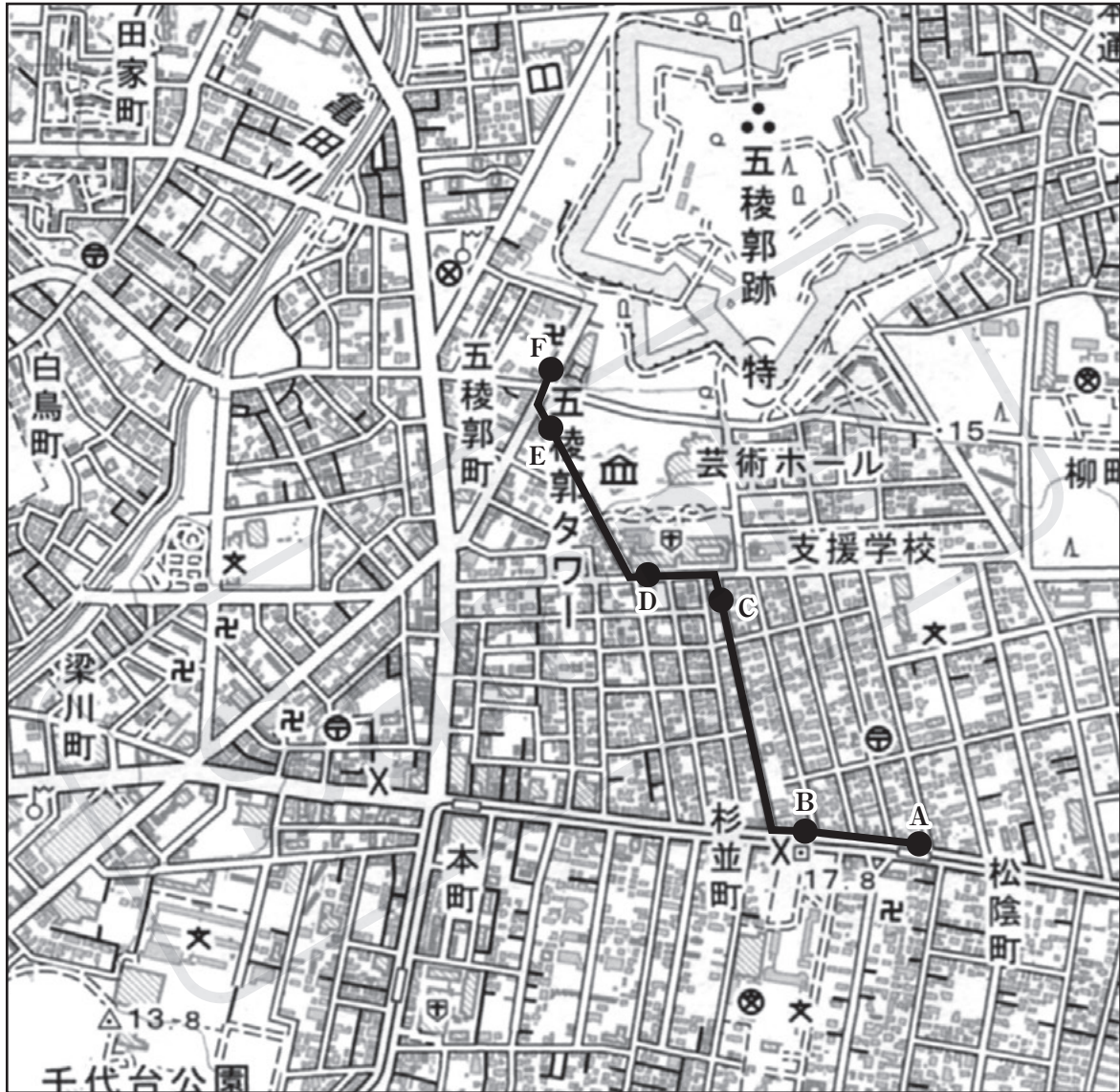
社 会 第 2 回

注 意

- 1 問題は **1** から **6** までで、12 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 計算が必要なときは、この問題用紙の余白を利用しなさい。
- 5 答えは全て解答用紙に **H B** 又は **B** の鉛筆(シャープペンシルも可)を使って明確に記入し、**解答用紙だけを提出しなさい。**
- 6 答えは**特別の指示**のあるもののほかは、各問の **ア・イ・ウ・エ** のうちから、最も適切なものをそれぞれ一つずつ選んで、その記号の **○** の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 7 答えを記述する問題については、解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- 8 答えを直すときは、きれいに消してから、消しくずを残さないようにして、新しい答えを書きなさい。
- 9 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 10 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

1 次の各問に答えよ。

〔問1〕 次の地形図は、^{はこだて}函館市にある五稜郭周辺の2025年の「国土地理院発行2万5千分の1電子地形図」の一部を拡大して作成した地形図上に●で示したA点から、B～E点の順に、F点まで移動した経路を太線(——)で示したものである。次のページのア～エのイラストと文は、地形図上のB～E点のいずれかの地点の様子を示したものである。地形図上のB～E点のそれぞれに当てはまるのは、次のページのア～エのうちではどれか。



0 500m

ア



進行方向に延びている道路の右手に美術館を眺めながら進むと、丁字型の交差点に突き当たった。

イ



西に延びている道路をしばらく進むと、十字路の交差点の右角に薬局があるのが見えた。

ウ



進行方向の正面に病院が見えた。病院に突き当たったところは丁字型の三差路になっていた。

エ



進行方向に延びている道路の中央には函館市電の線路があり、交差点の左手には交番が見えた。

〔問２〕 次の文章で述べている人物に当てはまるのは、下のア～エのうちのどれか。

征韓論を退けられ政府を去ったこの人物は、政府の政策に不満をもつ地元の士族らに押し立てられて、武力による大規模な反乱を起こしたが、近代的な軍備を整えた政府軍の前に敗れ、自害した。この事件ののち、政府への批判は武力ではなく言論によって行われるようになった。

ア 板垣退助

イ 木戸孝允

ウ 大久保利通

エ 西郷隆盛

〔問３〕 次の文章で述べている経済現象に当てはまるのは、下のア～エのうちのどれか。

多くの財やサービスの価格が上がり続ける現象のこと。多くの財やサービスの価格の上昇は、通貨価値の下落を意味し、年金生活者の生活の悪化などをもたらす。

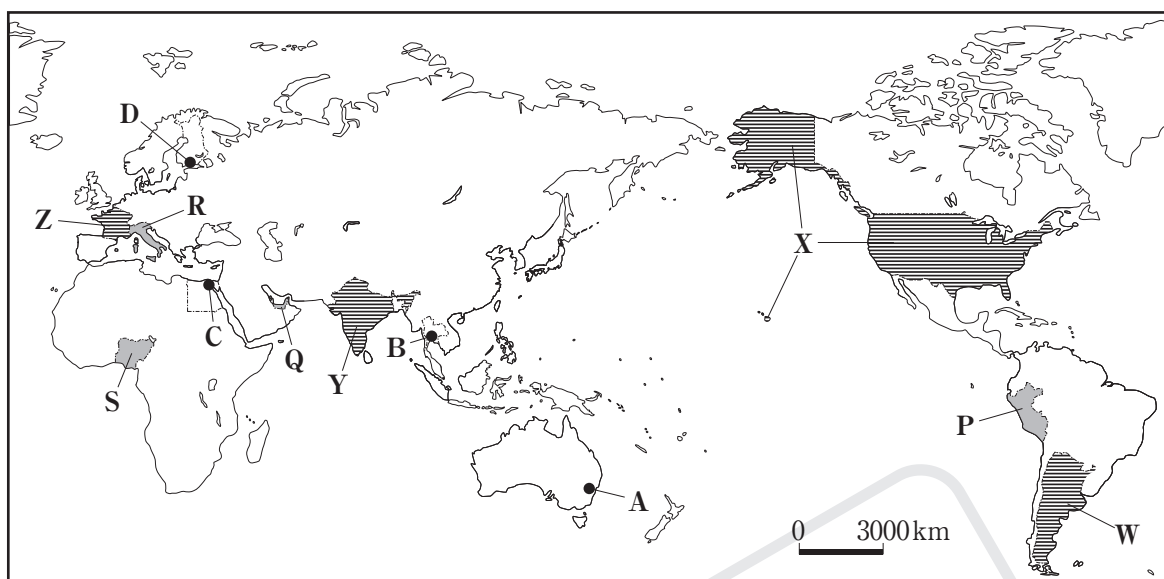
ア デフレーション

イ インフレーション

ウ マイクロクレジット

エ デフレスパイラル

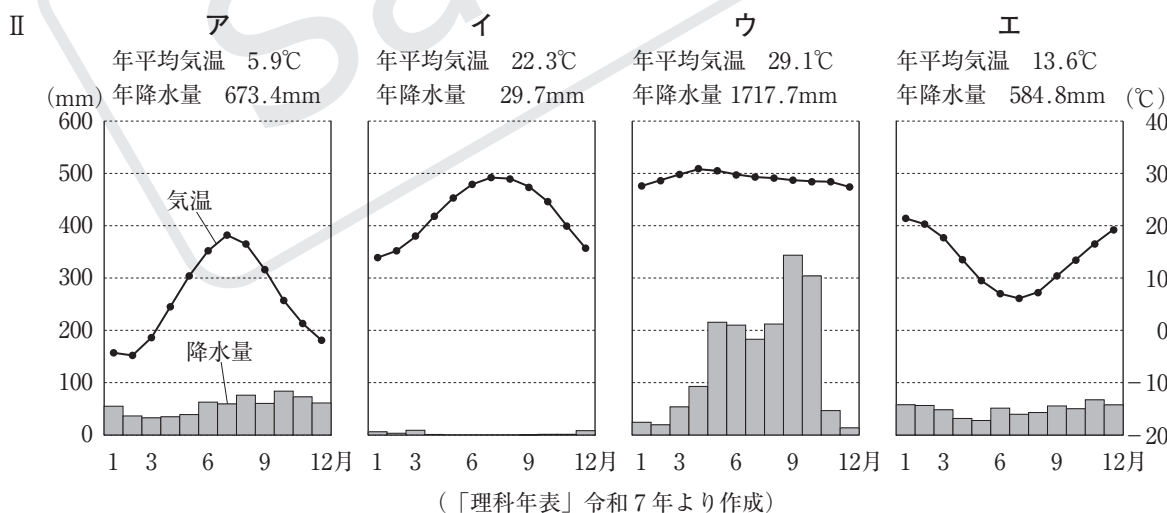
2 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



〔問1〕 次のⅠの文は、A～Dのいずれかの都市が属する国の様子についてまとめたものである。

Ⅱのア～エのグラフは、略地図中にA～Dで示したいずれかの都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅰの文で述べている国の都市に当てはまるのは、略地図中のA～Dのうちのどれか、また、そのグラフに当てはまるのは、Ⅱのア～エのうちのどれか。

Ⅰ 雨季と乾季がはっきりしており、雨季には季節風(モンスーン)の影響を受けて降水量が多いこの国では、米の栽培が盛んに行われ、世界的にも米の輸出量が多い国となっている。



〔問2〕 次のページの表のア～エは、略地図中に ■ で示したP～Sのいずれかの国の、2023年におけるこの国からの日本の輸入総額と、輸入品目上位3品目、2022年における原油の産出量、国土と産業の様子についてまとめたものである。略地図中のP～Sのそれぞれに当てはまるのは、次のページの表のア～エのうちではどれか。

	日本の輸入総額		原油の 産出量 (万 t)	国土と産業の様子
	(億円)	日本の輸入品目 上位 3 品目		
ア	3542	銅鉱 揮発油 液化天然ガス	205	国土には、5000 m～6000 m級の山が連なっている。 世界最大の流域面積をもつ河川の上流の地域では、熱帯雨林が広がる。
イ	16865	バッグ類 一般機械 衣類	449	北部の国境付近には高く険しい山脈が連なる。活火山があり、火山の噴火による災害が起こることがある。
ウ	51943	原油 揮発油 アルミニウム・同合金	16317	国土の大部分は砂漠が広がっている。この国最大の都市では、世界最大級のリゾート開発が行われ、世界的な観光都市になっている。
エ	708	アルミニウム・同合金 液化天然ガス ごま	5581	国土を大きな河川が流れ、河口部に三角州が形成されている。国土の中央部は丘陵地帯となっており、森林が広がる。属する州では最大の人口をもつ。

(「データブック オブ・ザ・ワールド」2025 年版より作成)

〔問 3〕 次のⅠとⅡの表の **ア～エ** は、略地図中に  で示した **W～Z** のいずれかの国に当てはまる。Ⅰの表は、2022 年における穀物と小麦・米・とうもろこしの生産量を示したものである。Ⅱの表は、2022 年における穀物と小麦・米・とうもろこしの輸入量と輸出量を示したものである。Ⅲの文章は、略地図中の **W～Z** のいずれかの国について述べたものである。Ⅲの文章で述べている国に当てはまるのは、略地図中の **W～Z** のうちのどれか、また、ⅠとⅡの表の **ア～エ** のうちのどれか。

Ⅰ	穀物生産量 (千 t)	生産量(千 t)		
		小麦	米	とうもろこし
ア	355849	108472	196246	33730
イ	411200	45012	7274	348751
ウ	92108	22177	1222	59037
エ	60173	34670	64	10877

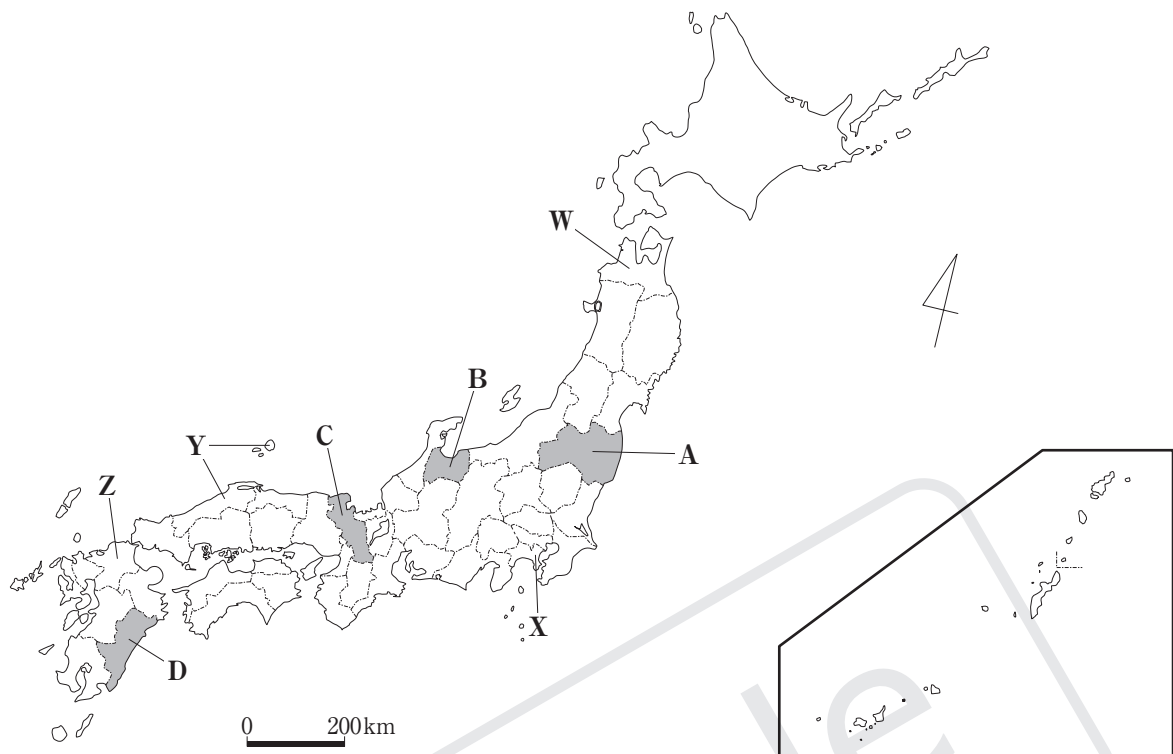
(FAOSTATより作成)

Ⅱ		穀物(千 t)	小麦(千 t)	米(千 t)	とうもろこし(千 t)
ア	輸入量	604	156	18	128
	輸出量	45978	8020	33107	4629
イ	輸入量	20253	11047	1841	1556
	輸出量	90443	24089	3094	59200
ウ	輸入量	195	29	2	15
	輸出量	56477	13665	601	35502
エ	輸入量	6623	4122	961	1102
	輸出量	36541	23104	122	5536

(FAOSTATより作成)

Ⅲ 地域最大の農業国であるこの国は、穀物の生産が盛んである。首都の周辺などでは、大規模な小麦の栽培が行われ、生産性が高い。穀物の輸出量が輸入量を上回り、中でも小麦は、輸出量が生産量の半数を上回り、輸入量の約 6 倍となっている。

3 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。

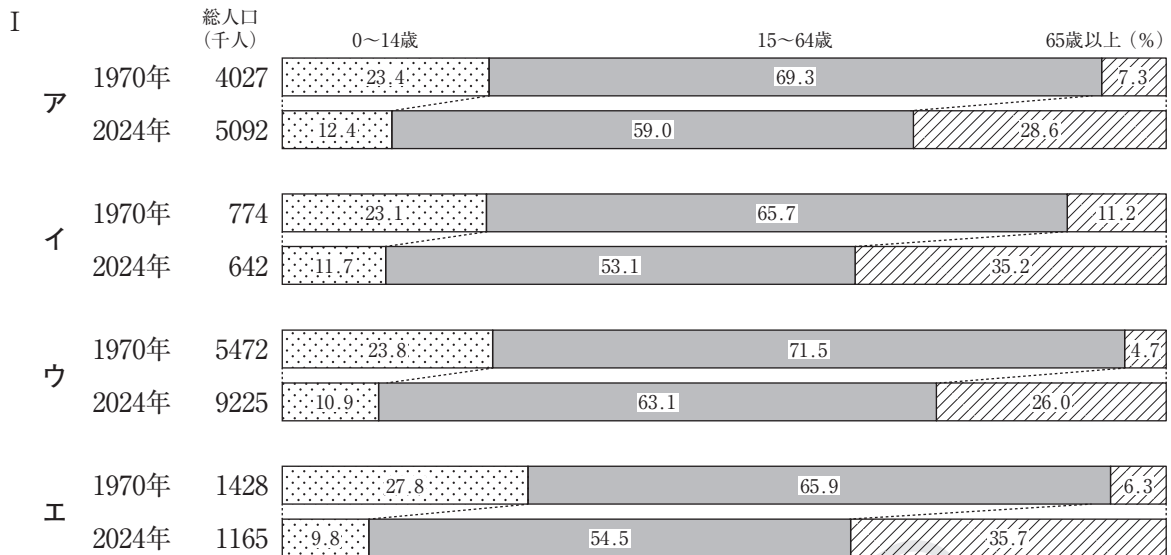


〔問1〕 次の表のア～エの文章は、略地図中に ■ で示した、A～Dのいずれかの府県の伝統的工芸品指定品目数、自然環境と産業の様子についてまとめたものである。A～Dの府県のそれぞれに当てはまるのは、次の表のア～エのうちではどれか。

	伝統的工芸品 指定品目数	自然環境と産業の様子
ア	17	○北部に高地、南部に盆地が位置している。北部の東側の海岸線はリアス海岸となっている。南部の盆地には、隣県から流れる河川が通っている。 ○地域特有の野菜が有名である。多くの工芸品が伝統的工芸品に指定されている。
イ	6	○北西の季節風の影響で、冬に雪が多く降る。南東部には日本アルプスの一つである山脈の北端が位置している。 ○農業は稲作が中心で、地場産業としてかつては売薬、現在はアルミニウム加工が発達している。
ウ	5	○西部に山脈が、東部に高地が縦断しており、その間に盆地が位置している。沿岸部は夏に雨が多く、冬は晴れの日が続く気候である。 ○稲作や果実栽培が盛んである。伝統的工芸品に指定された漆器が有名である。
エ	2	○北西部を山地が走っており、沿岸には平野、南部には台地が広がる。沖合いを流れる海流の影響を受けて、温暖な気候となっている。 ○施設を利用した野菜の栽培が盛んである。南部の台地では畜産が発達している。

(伝統的工芸品産業振興協会資料などより作成)

〔問2〕 次のページのⅠのア～エのグラフは、略地図中にW～Zで示したいずれかの県の1970年と2024年における総人口と年齢別人口の割合を示したものである。Ⅱの文章は、Ⅰのア～エのいずれかの県について述べたものである。Ⅱの文章で述べている県に当てはまるのは、Ⅰのア～エのうちのどれか、また、略地図中のW～Zのうちのどれか。



(注) 四捨五入をしているため、年齢別人口の割合を合計したものは、100%にならない場合がある。
(「日本国勢図会」2025/26年版などより作成)

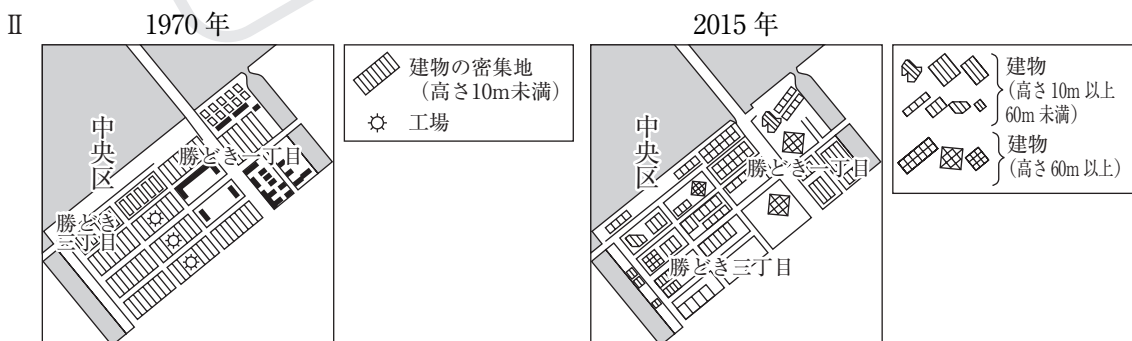
II 県庁所在地の臨海部は再開発が進み、郊外には住宅街が多く建設され、ベッドタウンとして機能している。1970年から2024年にかけて総人口は増加しており、2024年における65歳以上の人口は1970年の約9倍に増加している。

〔問3〕 次のIの文章は、東京都中央区月島地区で行われている政策についてまとめたものである。IIの略地図は、1970年と2015年における東京都中央区月島地区の一部を示したものである。IIIの表は、1970年、2023年における、略地図に示した地域の人口と世帯数を示したものである。略地図に示した地域の人口や世帯数の変化について、I～IIIの資料から読み取れる内容に着目して、簡単に述べよ。

I

- 東京都中央区月島地区では、土地の有効利用の促進、定住人口の確保、建物の円滑な建替えが促されることを期待し、1999年から「街並み誘導型地区計画」が導入されている。
- 「街並み誘導型地区計画」では、斜線制限の緩和のほか、「住宅等」などの建物については容積率を指定容積率の1.2倍まで緩和される。

(注) 容積率とは、敷地の面積に対する建物の延床面積の割合である。



III

	人口(人)	世帯数(世帯)
1970年	3264	1116
2023年	8162	4231

(「中央区政年鑑」より作成)

4 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

世界的に見て、古代の都市のほとんどは、宗教的・政治的支配の拠点であったが、中世以後には商業が都市形成の主役となっていた。⁽¹⁾日本でも、平安時代末期以降、政治の中心となった都市は、商業都市としても発展した。⁽²⁾室町・戦国時代になると、全国的な商業・手工業の発展を背景に、港町・門前町など新たな都市が出現し、一部に自治都市としての発展を見せたところもある。

江戸時代に入り、三都をはじめとした幕府の直轄都市は幕藩体制における全国的な流通経済のかなめとして大きな発展をとげた。⁽³⁾

その後、市町村制が施行されたり、交通体系が整備されたりする中で、都市の様子が変化していった。⁽⁴⁾

〔問1〕 古代の都市のほとんどは、宗教的・政治的支配の拠点であったが、中世以後には商業が都市形成の主役となっていた。⁽¹⁾とあるが、次のア～エは、古代から中世にかけての、日本と外国の都市について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア キリスト教の聖地であったエルサレムがイスラム教勢力に占領されたため、エルサレムを取り戻すために第1回十字軍が派遣された。

イ 元明天皇のときに唐の都の長安にならって建設された平城京は、中央を南北に朱雀大路が通り、碁盤の目のように整然と区画された。

ウ モンゴル帝国を建てたチンギス・ハンの孫であるフビライ・ハンが、都を大都に移し、宋(南宋)を破って中国を支配した。

エ インダス川流域に、排水施設などをもった計画都市であるハラッパー、モヘンジョ・ダロなどがおこり、これらの都市を中心に文明が栄えた。

〔問2〕 政治の中心となった都市は、商業都市としても発展した。⁽²⁾とあるが、次のⅠの略年表は、鎌倉時代から室町時代にかけて、政治上で活躍した人物に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は、ある都市についてまとめたものである。Ⅱの文章で述べている都市に北朝が置かれた時期に当てはまるのは、Ⅰの略年表中のア～エの時期のうちではどれか。

西暦	政治上で活躍した人物に関する主な出来事
1221	●北条政子が御家人に対して將軍家の恩を説く演説を行った。……………ア
1333	●足利尊氏が六波羅探題を攻め、新田義貞が鎌倉を攻めた。……………イ
1404	●足利義満が、中国との間で、朝貢の形式で貿易を始めた。……………ウ
1489	●足利義政が、金閣をまねて銀閣を建てた。……………エ
1573	●足利義昭が織田信長によって追放され、室町幕府が滅亡した。

Ⅱ

○この都市には、8世紀から長い間、朝廷が置かれていた。

○この都市では、9世紀に八坂神社の祭礼として祇園祭が行われ、10世紀以降恒例となったが、この都市を中心として起こった争乱の影響で、一時中断した時期がある。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

〔問４〕 市町村制が施行されたり、交通体系が整備されたりする中で、都市の様子が変化していった。⁽⁴⁾とあるが、次のア～エは、明治時代から昭和時代にかけて、都市に関するできごとの時代背景と当時の都市の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

	都市に関するできごとの時代背景と当時の都市の様子
ア	○ロシアで、レーニンを指導者としてロシア革命が起こり、日本やアメリカ合衆国などが革命に干渉するためにシベリア出兵を行った。 ○シベリア出兵を見越した商人が米の買い占めを行ったことで米の値段が高騰し、富山県魚津^{うおづ}の主婦が米屋をおそったのをきっかけに、米騒動が全国に広がった。
イ	○アジアで初めてのオリンピックが東京で開催されることになり、それに合わせて、東京を中心として交通網が整備された。 ○交通網の整備により、東京の景観が大きく変化し、東京と、名古屋や大阪などの大都市との間を移動する時間が大幅に短くなった。
ウ	○イギリスから技術と資金を導入して、我が国で初めて新橋^{しんぼし}－横浜間で鉄道が開通し、それまで東京から横浜へは１日かかって移動していたものが１時間もかからずに到着できるようになった。 ○鉄道の開業によって建設された駅の周辺が栄えていったが、それまで栄えていた東海道を移動する人が減少した。
エ	○サンフランシスコ平和条約が締結されたあともアメリカ合衆国の施政権下に置かれていた沖縄が、日本に返還された。 ○沖縄が日本に返還されたあとも、サンフランシスコ平和条約と同時に結ばれた日米安全保障条約^{ぎのわん}によって宜野湾市など広い地域にアメリカ軍の施設が残されることとなった。

5 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

グローバル化や情報化により便利になったとされる現代社会であるが、実際はさまざまな問題を抱えている。

日本国憲法に関しても、いくつかの問題がある。憲法が制定されて70年以上が経過し、急速に変化する現代社会への対応を求める声もある。憲法は未だ改正されたことはないが、国の最高法規であるため、国民全体がさまざまな観点から話し合うことが大切である。

また、近年の人口構成の変化も顕著である。現在の傾向が続けば、日本の現在の人口水準を維持していくことは困難になり、国家を保つことにおいて大きな問題になるとされている。

国の財政も決してよい状況とは言えず、私たちがこれから安心・安全な暮らしを送っていくためには、これらの問題の軽減が求められている。

〔問1〕 憲法は未だ改正されたことはない とあるが、憲法改正の手続きを正しく述べているのは、次のア～エのうちではどれか。

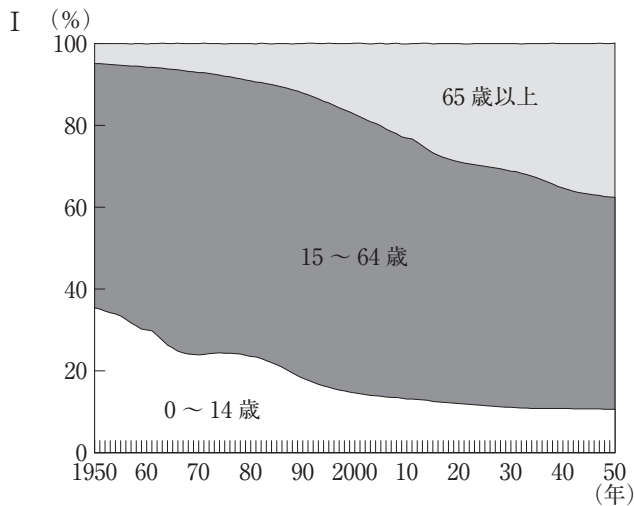
- ア 憲法改正原案が国会に提出されると、先に衆議院で審議される。
- イ 憲法改正の発議には、衆議院と参議院で総議員の4分の3以上の賛成が必要である。
- ウ 国民投票では、有効投票の過半数の賛成が得られれば、憲法が改正される。
- エ 憲法は内閣が国民の名において公布する。

〔問2〕 さまざまな観点から話し合う とあるが、次の文章で述べている対処に基づく考え方として当てはまるのは、下のア～エのうちのどれか。

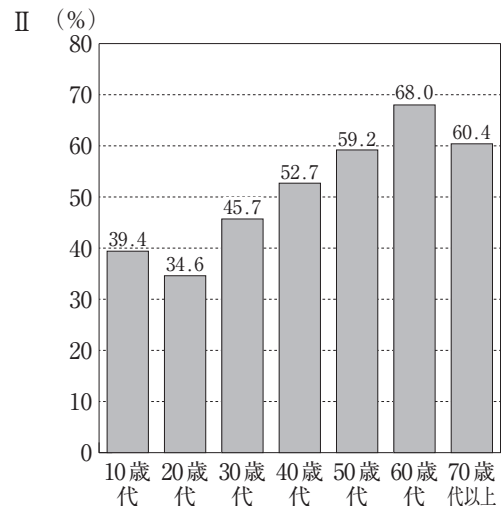
お昼の混雑時、4人掛けのテーブルが1つだけ空いていたところ、まず6人連れの客が来たので、店員は客に入り口付近で待ってもらっていると、次に4人連れの客がきた。店員は、4人連れの客を空いているテーブルに案内した。

- ア 全会一致
- イ 多数決
- ウ 効率
- エ 公正

〔問3〕 近年の人口構成の変化も顕著である。とあるが、次のページのⅠのグラフは、1950年から2050年までの我が国の人口構成の変化を示したものである(将来推計を含む)。Ⅱのグラフは、2024年10月に行われた衆議院議員総選挙での年代別投票率を示したものである。これらのグラフから、今後の衆議院議員総選挙の当選者の傾向としてどのようなことが懸念されるか簡単に述べよ。



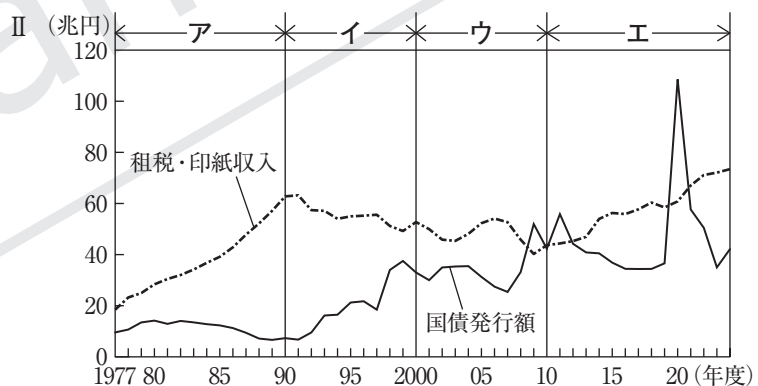
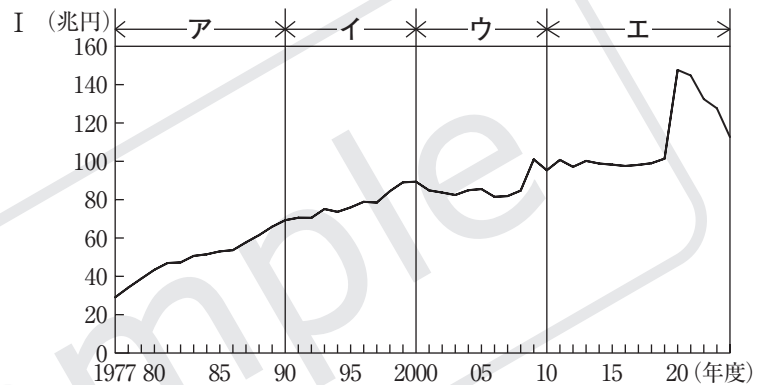
(国立社会保障・人口問題研究所資料より作成)



(総務省資料より作成)

〔問 4〕 国の財政も決してよい
(4) 状況とは言えず とあるが、

I のグラフは、1977 年度から 2024 年度までの我が国の一般会計の歳出総額、II のグラフは 1977 年度から 2024 年度までの我が国の国債発行額、租税・印紙収入の推移を示したものである。III の文章は、I と II のグラフ中のア～エのいずれかの時期について述べたものである。III の文章で述べている時期に当てはまるのは、I と II のグラフ中のア～エのうちのどれか。



(「数字でみる日本の 100 年改訂第 6 版」などより作成)

III

- バブル経済が崩壊し、株価や地価が下がり続け、企業の倒産が増えて、長い不景気の時代に入ってしまった。
- 不景気による影響が租税にも及び、この時期の初めに比べてこの時期の終わりになると、租税・印紙収入が約 10 兆円下がり、国債発行額が 20 兆円以上上がった。
- 歳出総額は、この時期の初めと終わりを比べると、約 20 兆円上がった。

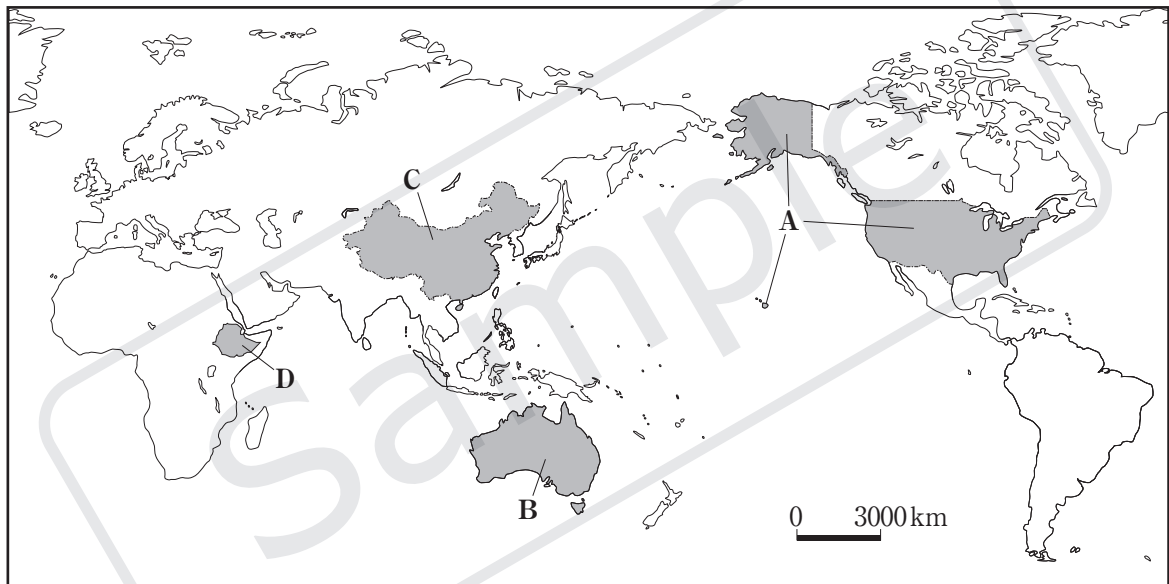
6

次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

国と国との結びつきが強くなり、グローバル化が進むと、各国の経済の発展につながる一方、病気などの衛生面の問題や環境破壊などの課題についても国境を越えて解決する必要がある。衛生面⁽¹⁾については、発展途上国と先進国で医療の発達や上下水道の整備などで差があり、病気がまん延したときの対策が難しい国では、人口の増減にも影響を与えている。

また、地域紛争を抱えている国⁽²⁾では経済の発展が遅れてしまうことや多くの国民が国を離れなければならぬ⁽³⁾ことがあり、先進国による発展途上国への経済協力、技術協力が必要とされている。

〔問 1〕衛生面⁽¹⁾については、発展途上国と先進国で医療の発達や上下水道の整備などで差があり、病気がまん延したときの対策が難しい国では、人口の増減にも影響を与えているとあるが、次の表の A～エの文章は、次の略地図中に示した A～D のいずれかの国の人口などについて述べたものである。A～D の国のそれぞれに当てはまるのは、A～エのうちではどれか。



	人口など
ア	国土の大部分が乾燥帯に属し、比較的降水量が多い沿岸部に都市が発達して人口が集中しているこの国は、かつて、この国に移住してくる人々をヨーロッパ系の人々に限定する白豪主義政策をとっていたが、1970年代にこの政策は廃止された。
イ	内陸部は乾燥し、沿岸部は湿潤な気候であり、人口が10億人を超えるこの国では、人口の増加を抑制するために1970年代後半から長い間、夫婦一組につき子どもは一人までに制限する人口抑制政策がとられてきたが、近年、高齢化が深刻化したことでこの制度が廃止された。
ウ	西部が乾燥し、東部は比較的湿潤な気候であり、人口が3億人を超えるこの国は、1775年に起こった独立戦争を経てつくられ、古くから様々な人種が暮らしてきており、近年では、ヒスパニックと呼ばれる人々の割合が増えてきている。
エ	国土の高原地域は気候が穏やかであり、そこに人口が集中しているこの国は、出生率が高いが、乳児死亡率も高い国となっており、教育の面では初等教育の就学率が以前と比べて高くなったものの識字率が約50%となっている。

〔問2〕 地域紛争を抱えている国 とあるが、次のⅠの略年表は、1950年から2011年までの、世界⁽²⁾の紛争などに関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は、世界の紛争と、それを解決しようとする動きについて述べたものである。Ⅱの文章で示したできごとが行われた時期に当てはまるのは、Ⅰの略年表中の⁽³⁾ア～エの時期のうちではどれか。

Ⅰ

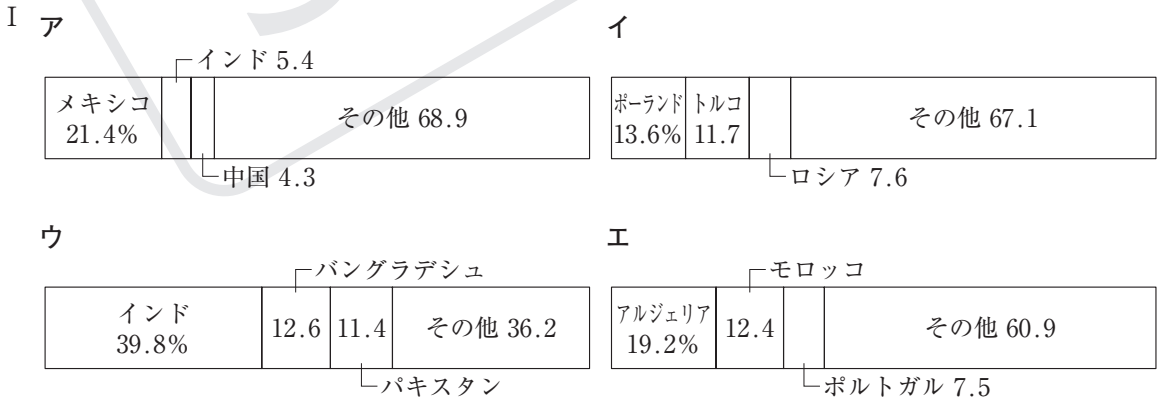
西暦	世界の紛争などに関する主な出来事	
1950	●北緯 38 度線付近で対立していた大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国との間で戦争が起こった。	↑ ア
1960	●コートジボワールやニジェールなど、アフリカの 17 か国が独立し、この年は特に「アフリカの年」と呼ばれるようになった。	↑ イ
1992	●日本で、国際平和協力法(PKO協力法)が成立し、前年まで紛争状態であったカンボジアに自衛隊が派遣された。	↑ ウ
2001	●組織化された武装集団によって、アメリカ合衆国で同時多発テロ事件が発生した。	↑ エ
2011	●長い間分離独立を求めて運動を続けてきたスーダンの南部が、南スーダンとして独立した。	↑

Ⅱ

○冷戦(冷たい戦争)が続く中、北アメリカ、西ヨーロッパの国々で結成された軍事同盟である北大西洋条約機構(NATO)に対抗し、ソ連を中心にワルシャワ条約機構が結成された。

○インドネシアのスカルノ大統領らの呼びかけで、インドネシアのバンドンでアジア・アフリカ会議が開かれ、アジア・アフリカが抱える問題が広く話し合われた。この会議では、民族独立、平和共存など平和十原則が宣言された。

〔問3〕 多くの国民が国を離れなければならないこと とあるが、次のア～エのグラフは、フランス、アラブ首長国連邦、ドイツ、アメリカ合衆国のいずれかの2020年における国際移住者(移民・難民)の出身国別割合を示したものである。Ⅱの文章で述べている国のグラフに当てはまるのは、Ⅰのア～エのうちのどれか。



(「世界国勢図会」2024/25年版より作成)

Ⅱ

○2020年における国際移住者(移民・難民)の出身国は上位3か国が同じ地域の国であり、その割合の合計は6割を超えている。

○鉱業が産業の中心であるが、近年、この国の最大の都市では石油に頼らない都市づくりを目指し、先進的な建物が建設されるなど、観光産業を推進している。